

処理概要

EBSまたはPaaS環境で変更された情報を相手システムへ連携し、相手システムの情報の追加・更新を行う。

- ①受注情報のPaaSーEBS連携
- ・PaaS環境で作成された受注情報をEBSへ連携し、標準受注へ取込む
 - ・EBS環境で更新(作成)された受注情報をPaaSへ連携し、アドオン受注へ取込む

システム利用者

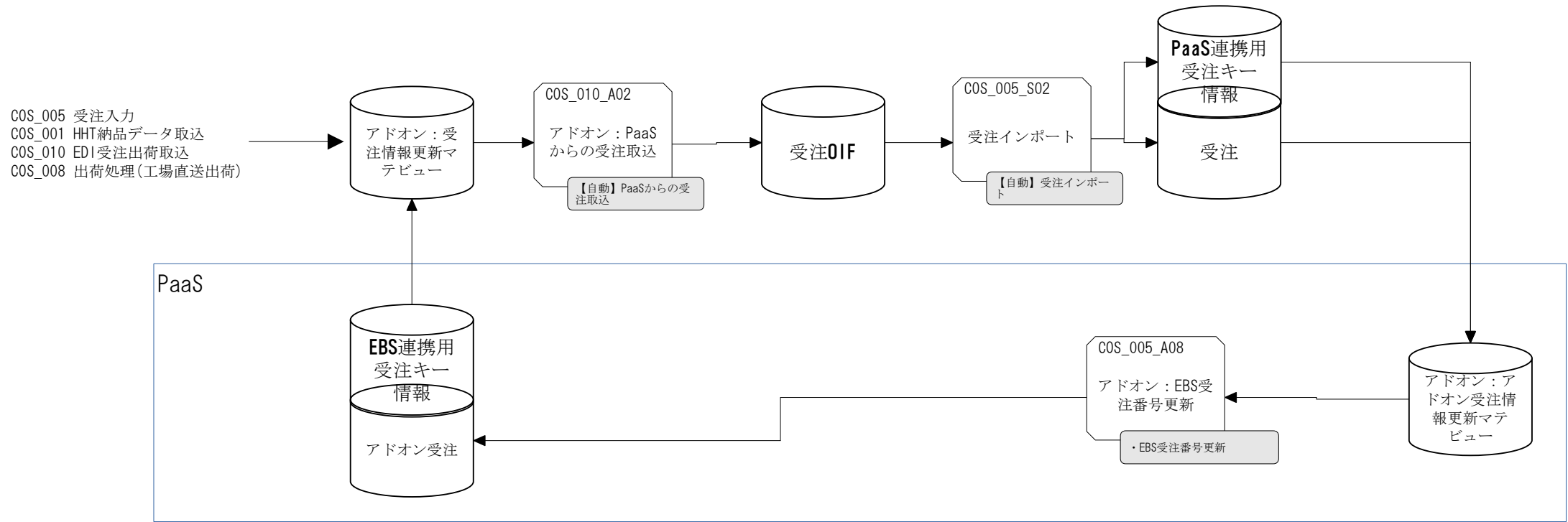
システム管理者 (自動起動)

処理タイミング、その他

各情報が更新(作成)されたタイミングで相手システムへ連携します。
※ジョブで実行される際は、ジョブに組み込み、オンラインでの実行の際の連携タイミングは方針について検討する必要がある

システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位 (標準機能含む) で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1 ファイル、1 システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、 (→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1 システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

